

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	スターキッズ			
○保護者評価実施期間	2026年1月14日		～	2026年1月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	18	(回答者数)	16
○従業者評価実施期間	2026年3月1日		～	2026年3月14日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数)	4
○事業者向け自己評価表作成日	2025年3月16日			

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	利用者のニーズに合わせた療育	個別支援計画を元に、普段の療育での様子やフィードバック、HUGで頂いた学校やご家庭での情報を加味した上で、児童に必要な療育内容を展開している。一貫した支援が行えるよう職員間で話し合うだけでなく、保護者とも密に情報の共有を行っている。	誕生日会や戸外活動など、土曜祝日での実施が多くなってしまい、あまり経験出来ない児童も居る。普段と異なる流れに慣れる為にも、固定化されないように意識していく。
2	児童の様子についての共有	その日の様子や困りごととも保護者と密に共有を行っていく事で、児童の小さな変化や普段とは異なる行動に気が付けるようにしている。イレギュラーな出来事があった場合は当日中に情報の共有を行える様職員間でも声掛けを行っている。	療育後のフィードバックについては時間が限られている為、HUGや電話を通しての情報共有や必要に応じて相談支援の場を設けていき、適切にフォローアップが出来るようにしていく。
3	児童が安心して通所出来る環境づくり	清潔な空間を保つための毎日清掃と消毒を行っている。また、コーナーガードの設置や必要に応じて危険が無いように職員の立ち位置を変えている。また、児童との信頼関係を築いていけるよう児童に真摯に向き合う事を心掛けている。	児童の荷物の入れ方を徹底しきれず、紐が出ていたりロッカーからリュックが出てしまっている事がある為、私物の管理や怪我防止のためにも入れ方を伝えていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	災害時の対応やマニュアルについての周知	緊急時のマニュアルについて、教室内への掲示や要望があれば開示もできるようになっているが、保護者の周知は十分ではない。	避難の流れなどは避難訓練の様子をSNSやHUGで公開していく事で周知を図る。緊急時のマニュアルについては契約などのタイミングで伝えていく。
2	地域や関係機関との関わり	グループ全体では地域の方も参加可能な行事を開催しているが、教室では地域行事やイベントへの参加があまりできていない。	戸外学習として地域行事への参加をしていき、近隣住民との交流の場を設けていく。
3	ペアレント・トレーニング等、家族等も参加できる研修会や情報提供の場	フィードバックやHUG、電話などを使用して情報共有や支援の相談等は日々行っているが、時間は多く取れていない。保護者会を開催する場合もあるが、機会は少ない為保護者への直接的な支援は十分には出来ていない。	必要に応じて相談支援の場を設けられることへの周知を促していくと共に、親子で参加できるイベントや交流の場を設けていく。